



第4回 パーソナルサポート講座 実施報告書

平成 25 年 3 月 11 日
これからの暮らし仕事支援室

1 目的

- (1) 岩手県内で実施しているパーソナル・サポート・サービス事業に対する理解と啓発を深める。
- (2) 支援機関同士の交流を通して地域における支援と連携を強化し、今後の社会的包摂への方向性を模索しながら、生活困窮者への寄り添い型・伴走型支援の充実に努めることを目的とする。

2 日程表及び内容

日時: 平成 25 年 2 月 22 日(金)

時間: 10:00～16:00

(1) 公開講座

時間	内容
9:30～10:00	受付
10:00～10:10	オリエンテーション 開会挨拶
10:10～11:20	基調講演 「自殺対策への取り組みを通して見たパーソナル・サポート・サービス事業の必要性」 講師 いわて生活者サポートセンター 事務局長 藤澤俊樹
11:20～11:30	質疑応答 公開講座閉会

(2) グループワーク

時間	内容
12:30～13:10	パーソナル・サポート・サービスの制度説明 「パーソナル・サポート・サービスの理念と実践」 講師 NPO法人くらしのサポーターズ 副理事長 吉田 直美

13:10～13:30	休憩および会場調整
13:30～15:50	事例検討・グループ討論によるケースワーク
15:50～16:00	グループワークのまとめとあいさつ 閉会

3 パーソナルサポート講座 参加者

参加者実数:56名(スタッフを除く)

うち

公開講座:31名(一般県民、相談支援担当者等)

グループワーク:25名(相談支援担当者限定)

4 参考資料

(1)グループワークでの事例検討用紙(一部)---グループワークで使用

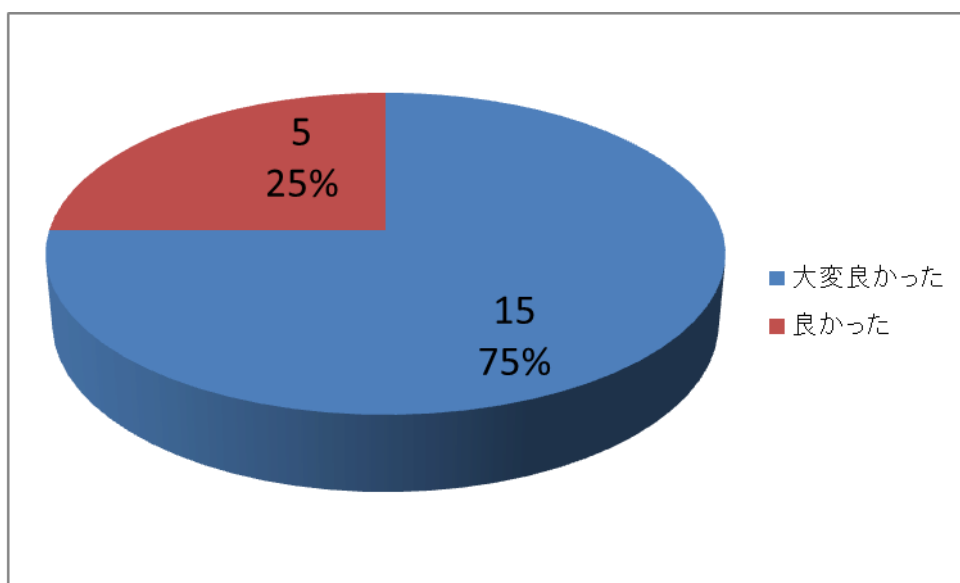
PS講座 事例検討会			班名
全体的な問題の把握	支援目標	社会資源	支援計画
【例】 1. 借金について	・自己破産をして、借金問題を解決したい。	・弁護士 ・消費生活センター	・弁護士との日程調整 ・相談同行 ・担当者へ連絡、相談同行
	・働いて、返済していきたい。	・ハローワーク ・障がい者支援機関	・ハローワークへの登録、相談同行 ・手帳の取得、就労支援

(2)グループワークでの参加を求めた相談関連機関(一例) 206 機関に発送

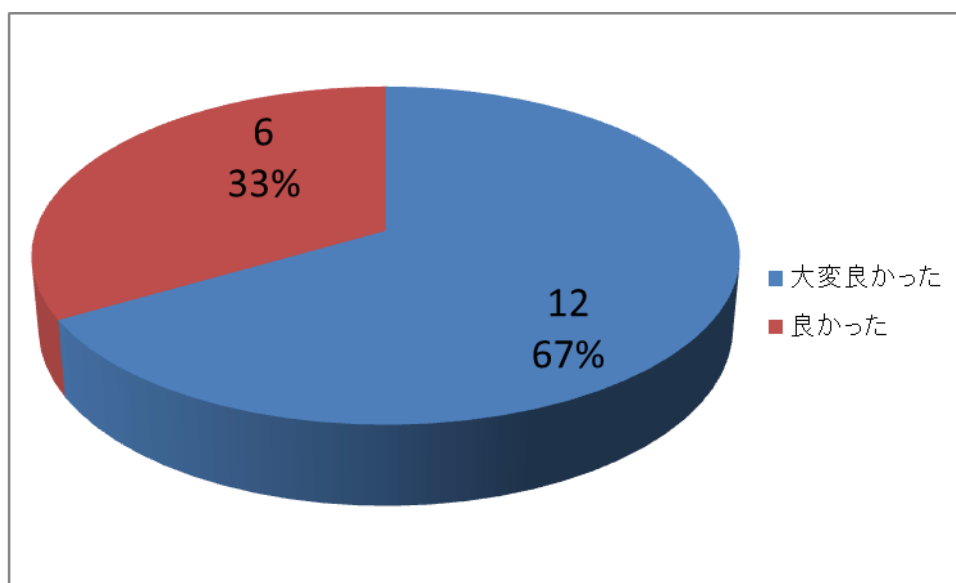
- | |
|--|
| <p>○市町村(滝沢村、紫波町、矢巾町等盛岡市広域圏)社協相談員
 ○精神保健福祉センター ○保健師 ○盛岡市生活福祉課 ○医療相談員
 ○NPO等支援団体 ○障がい者支援機関 ○地域包括センター関係者
 ○岩手県広域振興局福祉担当者 ○二戸市関連支援機関
 ○久慈市関連支援機関</p> |
|--|

など

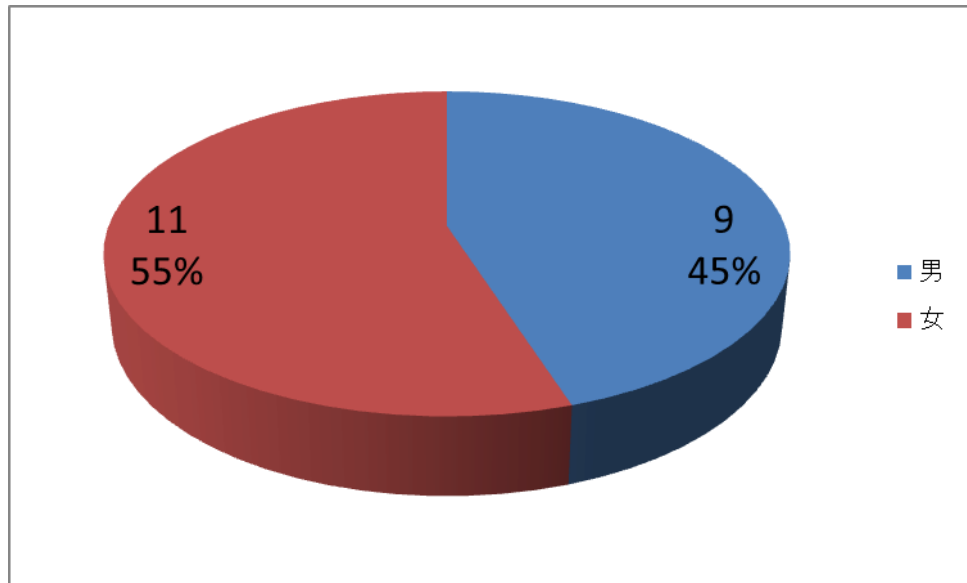
- 1 今回の講座について全体的な感想を教えてください。
4大変良かった、3良かった、2まあまあ良かった、1期待外れだった



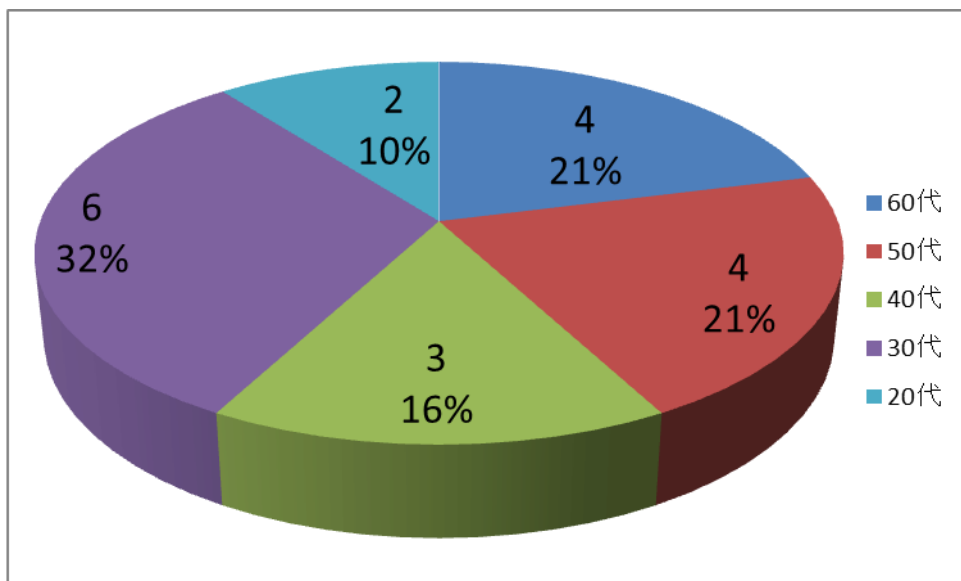
- 2 第2部のグループワークについて感想を教えてください。
4大変良かった、3良かった、2まあまあ良かった、1期待外れだった



3 あなた自身について、男女の別について教えてください。



4 差し支えなければ、ご年代をお教えてください。



5 講座グループワークを通じ、実践に活かせると感じたことがあれば教えてください。

・わかりやすく説明してくださいまして、ありがとうございました。酒を飲む(アルコール依存)のもうつのひとつだと知り、良かったです。←酒飲み、ひきこもりが身内にいたので。北東北3県に多い気がします。

・様々な意見を集約することで、プランの精度が高くなることを実感できました。各自の何気ない発言の中に、重要なエッセンスがあったように思います。

・講義だけでなく実践していくことの方が分かり易く整理できた。また他職種の方の意見も聞けたので参考になった。

・行政や地域などへの連携がとても大切だと感じ、まだまだ勉強不足だと痛感した。

・パーソナルサポートの基本姿勢を学ぶことができよかった。事例検討も勉強になった。実践に活かしていきたい。

・私ごとで申し訳ないのですが最初場違いの所に参加してもらった気配がありましたが、全て勉強をさせていただきました。これを元にこれからの活動に生かさせていただきます。又、ぜひ出席させていただきたいと思います。

・色んな機関の方の話が聞けて大変参考になりました

・専門分野をお持ちの方から、それぞれの視点でのかかわり方を聞くことができよかったです。

・問題の整理とニーズの把握が苦手だということを痛感しました。今後の活動の中で、きちんと把握できるように心がけていきたいと思います。

・多職種の方々と、一つになって支援の方法をさぐることで、巾の広い、考え方ができ今後大変参考になりました、

・違う職種の方とのグループワークで、そういう見方もあるだなあとか、参考になりました。

・ケアプランの作成や、情報共有しているが、どこにどうつなげるのか等の具体的な話を入れていきたい。

・色々な支援機関の人と考え方を知ることが出来た。もっと交流の機会があればいいと思います。

・「信頼関係」について自身の支援を振り返ってみると、やや雑になっているかもしれないという反省と新たな気づきを得られることが出来ました。今後の支援に生かし

ていきたいと思えます。

- ・専門分野の方々の意見を聴くことが出来た。新しい視点を発見した。
- ・スタッフ同士のカウンセリングミーティングで、支援方法の話し合いのやり方について新しい見方を持つことが出来ました。
- ・人に寄り添いたい→自分を変えてゆきたい→自らを成長し、資格取得すること。専門的な立場の方々の話はとてもよかったです。問題をしっかりと確認して手を打ってゆく作業は勉強になりました。
- ・個人作業←→全体作業 このサイクルは良かったです。

6 これからのくらし仕事支援室に期待することがあれば教えてください。

- ・私には相談する人がまわりにいないので、何かあったら平日に伺います。期待することは、“相談をきいてくれる”ことです。
- ・パーソナルサポートという概念は、困窮者支援のみならず様々な場面でニーズがあるように思います。一般の方々を対象とした就職活動が進学のサポートなどに展開し、PSを一般にも広めるような活動を期待します。
- ・具体的な対策や、手法などについても教えてほしい。
- ・これからの存在がとても心強く、今後も皆様が健康に気をつけて、息の長い支援を希望します。
- ・今後も、いろいろお世話になります。よろしくおねがいします。
- ・私達は震災地域の支援をしているので、知識とこれくらさんの仕事との交流をし、市民にも多く知ってほしい。
- ・県内全域に駐在させて欲しい。
- ・複合的な問題のある方のケースが増えてきておりまして、ご相談させていただくこともあるかと思えます。色々とお教えいただきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。
- ・私は行政に勤めているが、行政のできない部分を埋めていただきたい。

- ・今回のような事例見当が開催されましたらまた参加したいと思います。
- ・たくさんあります。やはりモデルをめざしてほしいです。このような場をどんどんつくって下さい。
- ・こうした学習会をこれからも開催していただければと思います。

7 その他、感想などご自由にお書きください。

- ・私は相談員ではなく、相談したい側なのですが！！支える側も必死なんだとわかりました。
ありがとうございました。EテレのハートネットTV(貧困社会、格差社会、生活保護)でこの事業を知りました。
- ・午後のグループワークに参加できないのが残念です。
事業への熱心な姿勢が伝わり、意義あるご活動に改めて感じ入りました。
- ・ゆっくりとお話したい所ですが、所用のため失礼いたします。またよろしく願いします。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・お疲れ様でした
- ・普段かかわれない、でも、同じ方向に向かっている方々にお会いでき、よかったです。
今後もこのような場が増えることを望みます。
- ・借金 1400 万。破産でしょ！と即思ったのですが、同じグループの方は、「働いて返したい」というのがその人のエンパワメントなのだから、それを第一に、とおっしゃってました。
ちょっと目からうろこで、そういう気持ち、忘れないようにと思ったのでした。
- ・今日は勉強になりました。ありがとうございます。
- ・グループワークの内容が良かった。
- ・時間配分がちょうど良かった。
- ・今日のような事例検討は最初はびっくりしましたが、
回数を重ねるごとにスキルアップしていけるのではないかと感じました。

・勉強になりました。

・今回も学習になりました。ありがとうございました。